

池田交流日記



明けましておめでとうございます

〜ウォンバットのティアからの年賀状〜

池田の皆さん、熊本県は旭志村から、明けましておめでとうございませう。私はティアです。皆さん覚えてますか？ 今年もよろしくね。

さて、私は昨年2月から、姪たち（なつぎとせくろ）のお見合いのため、旭志村で生活していたワジー君と一定期間交替の約束で、ここ「四季の里・旭志」にある動物園で、元気に過ごしています。今回は、この旭志村がどんなところなのか、皆さんに



相も変わらず元気に走り回っています

紹介したいと思います。

ホタルの里・旭志村



旭志村は、熊本市から東に約24km、菊地郡の北東部に位置する東西12・9km、南北5・7km、面積約46・6平方kmの農山村地帯の村です。村の東部には阿蘇外輪山の一つである鞍岳（1118m）があり、平地は鞍岳西側の麓に扇形状に開けています。東西に長いのは、池田と同じですね。この地形の特徴をいかし、旭志村は、古くから畜産を中心とした農業主体の村として発展してきたようです。でも現在は、西日本一の畜産地帯を形成すると同時に、熊本テクノポリス圏域の「バイオの森地域」として位置付けられ、文化と産業の調和したふるさとづくりをめざし、日々前進しています。

また、「ホタルの里」としても大変有名で、「熊本ホタルの里百選」

にも選ばれています。毎年5月下旬から6月上旬にかけて、その美しい風景を楽しむことができます。私もその光の乱舞に心をすっかり奪われ、徹夜してしまいました（ま、もともと夜行性なんですけどね…）。

「四季の里・旭志」って
どんなところ？



ワラビーさんだけでなく、カンガルーさんもいます

鞍岳の中腹にある「四季の里・旭志」は、旭志村の第3セクター総合レジャー施設として、平成7年7月にオープンしました。ここは、私たち人間、人間と人間、人間と自然とのふれあいを通して、村民の皆さんと村を訪れる方との交流を促進し、地域の活性化をめざす施設です。

広さは約26haで、メイン施設になるのは温泉を利用した保養研修センターです。センター内の浴室には、気泡浴やジェット浴、冷水

浴など、さまざまな種類の浴槽やサウナがあり、ゆったりとくつろぐことができます。残念ながら、私は入れませんけど、「気持ち良かったね」と話しているのをよく耳にします。もう一つの施設が、私が生活している「ふれあい広場」と牧場です。広場では、私と同じオーストラリアのタスマニア州からやってきたカンガルーさんや、五月山動物園にもいるワラビーさんと一緒に住んでいます。広い敷地内で、一日中のんびりしています。また、牧場にはポニーさんや羊さん、ラマさんなどがいます。訪れた方は、子どもも大人もみんなゆつくり楽しそうにしています。

さて、旭志村や四季の里・旭志について簡単に紹介しましたが、もし熊本県に来ることがあったら、ぜひ遊びに来てください。まだしばらくこちらにいますので…。早く姪っ子たちに赤ちゃんができることを祈っています。それでは皆さん、風邪などに気を付けて。ティア



ティアの世話をしている中島啓蔵です。皆さんもぜひ、人と自然のふれあい郷「四季の里・旭志」に遊びに来てください。夏にはキャンプも楽しめます。問い合わせは☎09 68・37・3939です。